

県営スポーツ施設のあり方について

平成 29 年 12 月

県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会

目 次

はじめに	1
I スポーツ施設の現状	2
II スポーツを取り巻く環境	5
III 県におけるスポーツ振興の基本方針	7
IV 県営スポーツ施設に関する課題	9
V 県営スポーツ施設に係る基本的考え方	10
VI 県営スポーツ施設の今後のあり方	11
資料	
1 県営スポーツ施設一覧	31
2 北海道及び東北各県の医科学センター及び屋内練習施設一覧	43
3 岩手県公共施設等総合管理計画の概要（抜粋）	45
4 岩手県スポーツ施設のあり方に関する懇談会 委員名簿	47

県営スポーツ施設のあり方について

はじめに

県営スポーツ施設は、その多くが昭和 45 年に開催された岩手国体の会場として使用されるために整備された施設であり、経年とともに施設・設備の老朽化が進行している状況にある。

一方、平成 11 年のインターハイ等を契機として市町村が整備したスポーツ施設も充実し、平成 12 年の地方自治法の改正により市町村、県及び国の基本的役割が明確化されたことも踏まえ、スポーツ施設についての県・市町村の連携や役割分担等の検討も必要となってきた。

このような状況の中、県においては、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を通じて醸成された県民の文化、スポーツに対する関心の高まりや参画意識を次の世代に引き継ぐとともに、文化やスポーツ、経済、観光など、様々な分野で生かしていくため「岩手県文化・スポーツ振興戦略」を策定するとともに、知事部局に事務を一元化し、専担組織として「文化スポーツ部」を設置したところである。

また、ラグビーワールドカップ 2019 の成功と大会後のレガシーを見据えた取組の推進、スポーツ活動や文化、芸術活動を支える環境の整備や人材の育成、競技力向上やトップアスリーの育成などにも重点的に取り組むこととしており、文化やスポーツを核としたふるさと振興に資する諸施策を効果的、戦略的に展開し、次世代を担う子供たちが夢や希望を実現できる環境づくりを進めているところである。

本懇談会では、これらのことを踏まえ、今後の県営スポーツ施設のあり方について方向性を協議したので、その結果を報告する。

県においては、今後、この報告を参考に、県民のニーズに沿った県営スポーツ施設の管理・運営を図るよう提言する。

I スポーツ施設の現状

1 県営スポーツ施設の状況

施設名	設置年度	経過年数(H29)	施設概要	備考
県営運動公園 陸上競技場	S41	51年	陸上競技場・・・第2種陸上競技場、400m×8コース、全天候舗装、収容人員30,000人、サブトラック・・・300m×7コース、一部全天候舗装	
県営運動公園 テニスコート	S42	50年	オムニコート8面、収容人員1,000人	
県営運動公園 サッカー・ラグビー場	S43	49年	第1グラウンド・・・160m×90m、人工芝グラウンド1面(H26改修)、収容人員4,000人 第2グラウンド・・・160m×90m、クレーコート1面、収容人員4,000人	
県営運動公園 野球場	S44	48年	軟式野球場1面、収容人員4,000人	
県営運動公園 登はん競技場	H10	18年	屋内競技場(ボルダリング:H18)2面、屋内練習場(ボルダリング:H10)1面、屋外競技場(リード:H25)2面	
県営体育館	S42	50年	敷地面積13,404㎡、コート面積1,877㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て、アリーナ1面 収容人員 固定席:1,625席	
県営野球場	S45	47年	敷地面積:88,949.11㎡ 左右翼線:91.50m、中堅線:122.00m 収容人員:25,000人(メイン:3,400人、内野:9,062人、外野:12,538人) 屋内練習場:760㎡×2室、研修室:180㎡ トレーニング室:144㎡、	
県営スケート場	S47	45年	敷地面積:34,737㎡ 管理・観客席棟:鉄筋コンクリート造2階建て 収容人員:観覧席1,660人 スピードリンク:400m×15m、1面 インラインスケートリンク:200m×6m、1面 アイスホッケーリンク:60m×29m、1面 フィギュアリンク:60m×29m、1面 附帯施設:食堂、休憩室、休憩場等	

施設名	設置年度	経過年数(H29)	施設概要	備考
県営武道館	H 1	28年	敷地面積 18,498 m ² ○弓道場 ・近的場 鉄筋コンクリート造平屋、 延床面積 1,086 m ² 競技機能：12人立ち、観客席 150人 ・遠的場 鉄筋コンクリート造平屋、 延床面積 55 m ² 競技機能：6人立ち ○相撲場 鉄骨造平屋、延床面積 180 m ² 競技機能：土俵 1面、屋外練習場、 観客席 500人 ○大道場 鉄筋コンクリート造一部地下・地上 3階、 延床面積 4,988 m ² 競技機能：柔道・剣道 6面、 バレーボール 2面、テニス 2面、 バドミントン 6面、卓球 18面、 ハンドボール 1面 観客席：固定席 1,000席 アリーナ移動席 2,000席 ○柔道場 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積 745 m ² 競技機能：試合場 2面 ○剣道場 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積 745 m ² 競技機能：試合場 2面	
御所湖広域公園艇庫	S 57	35年	敷地面積 4,825 m ² 施設：鉄骨造 2階建て（艇格納庫、管理室、休憩室、会議室） 設備：漕艇用ボート、カヌー、審判艇、トレーニング用具 コース：日本漕艇協会 B級公認コース 2,000m×6レーン、1,000m×6レーン	
県営スキージャンプ場	S 60	32年	敷地面積 10,299.94 m ² ミディアムヒル K点までの距離 (HS) …50m (HS : 56m) スモールヒル K点までの距離 (HS) …25m (HS : 27m)	

施設名	設置年度	経過年数(H29)	施設概要	備考
スポーツ健康科学センター 多目的屋内練習施設			施設整備計画時の概要 建設予定地：県営運動公園サッカー場 施設整備の規模 多目的屋内練習施設 12,000 m ² アリーナは人工芝、練習用直走路（タータン） スポーツ健康科学センター2,300 m ² トレーニング室、測定室、 メンタルトレーニング室、 メディカルチェック室、医療相談室等	整備凍結

※1 各スポーツ施設の利用状況、改修履歴等については、資料1参照

※2 北海道及び東北各県の医科学センター及び屋内練習施設については、資料2参照

2 県内公立スポーツ施設の状況

施設区分	規模基準	市町村数	施設数	備考
運動場	陸上競技場、球技場等	30	175	
コート	屋外のテニスコート等	28	93	
野球場	外野フェンス等設備	31	71	
体育館	床面積720 m ² 以上	33	230	
水泳プール	25m以上	24	50	
柔剣道場	柔道場、剣道場	23	36	
弓道場	弓道の試合が可	12	15	
相撲場	標準規格の土俵	12	21	
スキー場	リフト、ロープ塔設備	11	16	
スケート場	パベルンクスケートリンク	5	6	
漕艇場（ヨット場）	救助設備を有する	5	7	

※ 県内市町村のスポーツ施設の状況については、資料1参照

II スポーツを取り巻く環境

1 第2期スポーツ基本計画の策定

国において、平成29年3月24日に策定された第2期スポーツ基本計画における中長期的なスポーツ政策の基本方針の概要

～スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports、Enjoy Life ～

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。

(1) スポーツで「人生」が変わる！

スポーツを「する」ことで、スポーツの価値が最大限享受できる。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながその価値を享受できる。スポーツを生活の一部とすることで、人生を楽しく健康で生き生きとしたものにできる。

(2) スポーツで「社会」を変える！

スポーツの価値を共有し人々の意識や行動が変わることで、社会の発展に寄与できる。スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる。

(3) スポーツで「世界」とつながる！

スポーツは「多様性を尊重する世界」「持続可能で逆境に強い世界」「クリーンでフェアな世界」の実現に貢献できる。

(4) スポーツで「未来」をつくる！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、オリンピックムーブメントやパラリンピックムーブメントを推進。

本計画期間においては、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野との連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」を実現する。

2 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催

平成28年の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会における本県選手団の素晴らしい活躍は、県民に大きな喜びと感動を与えてくれたところであり、両大会を通じて得た成果や教訓などのレガシーを未来に継承し、本県の競技力の向上に生かしていくことは重要である。

このような中、県においては、岩手県文化・スポーツ振興戦略において、競技力向上やトップアスリートの育成に重点的に取り組み、この岩手の地から、全国の舞台やオリンピック、パラリンピック等の国際大会でも活躍するトップアスリートの輩出などを目指している。

3 スポーツを通じた地域活性化の推進

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の成功を通じて得られた県民の自信や参画意識の高まりなど、次の世代につなげていくべき貴重なレガシーを継承し、これを復興とふるさと振興につなげていく必要がある。

特に、ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催や東京 2020 オリンピック・パラリンピック等の交流人口拡大の機会があるほか、県内のスポーツ資源と観光資源を活用し、国内外の各種競技大会やスポーツ関連イベント、スポーツ合宿の誘致等により、地域のスポーツ振興と活性化を図っていくことが重要である。

4 ライフステージに応じたスポーツの推進

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた取組により高まった県民の運動・スポーツへの関心を維持・向上させ、県民のスポーツ参加促進と運動習慣の定着化を図るため、市町村と連携し、幼児から高齢者まで気軽にスポーツに取り組める環境の整備が求められている。

5 障がい者スポーツの振興

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、より身近にスポーツを楽しむことができる環境を整えるとともに、スポーツによる障がい者の社会参加を促進していく重要性が高まっている。

Ⅲ 県におけるスポーツ振興の基本方針

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を通じて醸成された県民の文化、スポーツに対する関心の高まりや参画意識を次の世代に引き継ぐとともに、文化やスポーツ、経済、観光など、様々な分野で生かしていくため、県では「岩手県文化・スポーツ振興戦略」を策定したところ。

1 策定の趣旨

- 岩手の多様な資源を活かし、国体・大会で得た競技力向上やおもてなしなどのレガシーを次世代に継承していくことが求められていること。
- ラグビーワールドカップ2019TMの釜石開催や2020東京オリ・パラに向けた取組を含めて、岩手の未来を切り拓く力がある「文化・スポーツ」を通じて、地域の誇りを高め、愛着を深めるなど、地域社会の一体感や活力の向上につなげること。
- 文化・スポーツが有する多面的価値により、観光産業の振興やスポーツ産業など幅広い分野への波及効果が期待され、県民が日常的に文化・スポーツに親しむこと等を通じて、県民一人ひとりの個性が輝き、創造性が発揮される社会の実現が期待されること。



この戦略は、文化・スポーツを巡る様々な潮流を的確に捉え、平成33年度までの概ね5年間における岩手県の文化・スポーツ振興のための方策を具体的に示すもの。

2 戦略の位置付け

「いわて県民計画」第3期アクションプランの政策推進目標の推進やその先の、あるべき未来の姿の実現に向け、平成33年度までの概ね5年間に、県として戦略的に取り組む施策の指針であり、「岩手県ふるさと振興総合戦略」や「岩手県文化芸術振興指針」などの関係計画等を踏まえたもの。

3 目指す姿

個性と創造性あふれる「ココロパワー・カラダパワー いわて」

文化・スポーツは、日常生活に潤いや活力を与えるだけでなく、私たちが抱く夢や希望を実現し、自己表現のツールとして欠くことができないもの。また、一人ひとりの個性と文化・スポーツが有する多面性や広がり融合することにより、人と人、人とふるさとのつながりという社会的な力となるとともに、観光・スポーツ産業・健康医療産業・文化芸術産業などの経済的な力を生み出す可能性を有している。

こうした文化・スポーツのパワーにより、創造性にあふれ、多様な個性を受容し尊重する岩手をつくっていく。

4 戦略～スポーツ関連のみ抜粋～

戦略1 国体・大会のレガシーの継承と従来の枠を超えた文化・スポーツへの取組

【重点施策1】

ラグビーワールドカップ 2019 TM 釜石開催の成功と大会後のレガシーを見据えた取組の推進

- ・成功に向けた開催準備 ・キャンプ地等の県内誘致
- ・選手の発掘・育成、普及活動

【重点施策2】

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた地方が主役となる取組の推進

- ・キャンプ地誘致、ホストタウン登録支援 ・PR活動の展開

戦略3 県民が元気になるスポーツの振興

【重点施策1】

一人ひとりが楽しむことができるスポーツ社会の推進

- ・運動・スポーツへの参加機運の醸成
- ・スポーツ医・科学の視点を取り入れた運動習慣等の定着

【重点施策2】

競技力向上とトップアスリートの育成

- ・トップアスリートの育成・活動支援 ・競技力向上を担う指導者養成
- ・アスリートの県内定着支援

【重点施策3】

スポーツ活動を支える環境の整備

- ・指導者やボランティアが継続して活動できる取組の推進
- ・障がい者スポーツの推進・理解促進
- ・県の体育施設の在り方を総合的に検討

【重点施策4】

トップスポーツチームとの連携やスポーツツーリズムの振興による地域活性化の推進

- ・トップスポーツチームによるスポーツ教室開催
- ・いわてスポーツコミッション（仮称）の設置検討

IV 県営スポーツ施設に関する課題

県営スポーツ施設の整備・改修については、東日本大震災の発災や希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催、厳しい県の財政状況等により計画変更等を余儀なくされてきたが、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、次の視点による検討が必要である。

1 県営スポーツ施設の施設・設備の著しい老朽化

利用者の安全を最重点として、必要性や緊急性を考慮しながら計画的に維持補修を行っているが、経年とともに施設・設備の老朽化が著しくなっており、大規模な改修や改築、代替施設等（以下「改修等」という。）の検討が必要な時期に来ている。

2 市町村との連携や役割分担

平成 11 年の岩手インターハイ等を契機に、市町村が整備したスポーツ施設も充実してきており、本県の中核的スポーツ施設については、県営の施設だけではなく、市町村を含めた全体で担っていくよう、県・市町村の連携や役割分担の検討も必要となってきた。

3 国体終了後の県営スポーツ施設のあり方

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の競技会場については、既存施設を最大限有効活用する方針とし、既存の県営スポーツ施設についても優先的かつ必要最小限の整備を進めてきたが、今後は、その劣化状況や今後の活用見込みを十分に勘案したうえで、改修等の検討が必要である。

4 岩手県公共施設等総合管理計画との整合

平成 28 年に岩手県公共施設等総合管理計画が策定されたことに伴い、当該計画に位置付けられたコスト縮減、財政負担の平準化、施設規模や配置、機能等の適正化、環境への配慮や市町村等との連携などとも整合を図る必要がある。

※ 岩手県公共施設等総合管理計画については、資料 3 参照

V 県営スポーツ施設に係る基本的考え方

市町村における高規格なスポーツ施設の整備等、県内施設の充実化という現状や、「行政は住民に近い市町村（基礎的自治体）が第一義的に担い、県は市町村では解決できない広域的な課題などを処理する。」という、改正地方自治法による県と市町村の基本的な役割分担（市町村優先の原則、補完性の原理・近接性の原理）を踏まえ、県の役割として、次の考え方に基づき県営スポーツ施設の維持・改修等に努めることが望ましい。

1 県民がスポーツに親しむ環境の確保

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を契機に高まったスポーツに対する関心を維持・向上させるため、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境を、市町村と連携して確保することが重要であり、県営スポーツ施設の老朽化の程度に応じた改修等を進める必要がある。

2 競技力の向上を担う施設の整備

県は、アスリートの医・科学的なサポートや、季節や天候に左右されずにトレーニングが可能な施設の整備など、市町村では担うことが困難な県代表クラス以上のアスリート育成や競技力の向上に注力していくべきである。

ただし、市町村によっては特定のスポーツ振興（ホッケー、自転車、スキージャンプ等）を軸とした街づくりが行われている場合もあり、県営スポーツ施設についてはこうした動きも考慮しつつ検討する必要がある。

3 全国規模の競技会等を開催できる施設の確保

全国的な競技会を開催できる水準のスポーツ施設は、競技ごとに県で少なくとも1か所以上あることが望ましく、市町村において保有していない施設機能については、補完的機能を担う県の役割として改修等を検討していく必要がある。

4 東日本大震災からの復興状況や県財政を勘案

東日本大震災津波からの復興の途上にあることを踏まえるとともに、長期的な視点に立った公共施設等マネジメントを推進する必要があることから、岩手県公共施設等総合管理計画と整合性を図りながら、優先順位を定め、計画的に県営スポーツ施設の改修等を進めていくべきである。

VI 県営スポーツ施設の今後のあり方

これまで述べた現状、環境変化、スポーツ振興の基本方針、県営スポーツ施設に関する課題、基本的考え方を踏まえ、ここからは県営スポーツ施設ごとに長期的な視点での今後のあり方に加え、県民ニーズや県の財政状況も考慮した当面の措置について整理していく。

なお、県営野球場については、盛岡市で計画している新野球場の整備方針等を踏まえて別途検討していく。

1 県営運動公園

(1) 陸上競技場（昭和41年6月完成、第2種公認陸上競技場）

県内に8か所ある公認陸上競技場のうち、全国規模の競技会を開催できる第1種公認は北上陸上競技場のみ、東北規模の競技会を開催できる陸上競技場は、北上に加え県営陸上競技場のみである。

※1 一関陸上競技場についても県営と同様第2種公認であるが、補助競技場を有していないため、東北大会以上の開催は現実的には困難とされている。

※2 県営陸上競技場を第1種公認にするためには、補助競技場を拡張する用地が不足している。

【公認陸上競技場の主な基準】

項目	第1種	第2種	第3種	第4種
使用できる大会	日本選手権や国民体育大会など、日本陸連が主催する全国規模、および国際的な大会	加盟団体陸上競技選手権大会、及び地方における主要な大会	加盟団体等の対抗競技会等	加盟団体の加盟団体の大会・記録会
トラックとフィールドの舗装材	全天候型舗装	全天候型舗装	全天候型舗装	全天候型舗装が望ましいが土質のものでも可
走路一周の距離	400m	400m	400m	200m 250m 300m 400m
直走路	8又は9レーン	8又は9レーン	8レーン	6レーン以上
曲走路	8又は9レーン	8又は9レーン	6レーン以上	4レーン以上
インフィールド	天然芝	天然芝	天然芝	天然芝が望ましいが、人工芝でも可
補助競技場	全天候舗装、走路一周400mで第3種相当	全天候舗装が望ましい	なくてもよい	なくてもよい
観客席の収容人員	15,000人以上	5,000人以上	相当数	相当数
県内の状況	北上	県営、一関*	金ヶ崎、宮古	花巻、遠野、滝沢

全国規模の競技会に関しては、国体、全国高校総体ともここ10年以内に開催しており、今後10年以内には全国中学校大会又は全国高校総体の開催が想定されるが、県内で総合開会式や陸上競技が行われるとしても、北上陸上競技場での開催が可能である。

※県営陸上競技場に係る参考データ

1 設置年度 昭和41年6月 耐用年数 65年（平成46年度）

2 利用状況

(1) 陸上競技場

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	171,954	176,283	218,172	214,336	149,062
利用率(%)	86.2	75.6	93.1	88.1	96.6

(2) 補助競技場

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	42,727	66,563	113,315	120,034	45,021
利用率(%)	71.6	56.8	58.5	56.4	63.7

3 今後30年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費	(27.7億円)	H29 予算×30年
施設整備費	17.5億円	第2種公認に伴う改修工事 メインスタンド改修、補助競技場改修 等
計	(45.2億円)	

※管理運営費は、県営運動公園内にある他の施設を含めた全体の費用である。

4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ 北上陸上競技場

H23 北東北インターハイ 北上陸上競技場

H28 希望郷いわて国体 北上陸上競技場

(今後のあり方)

全国規模の競技会・大会については、しばらくの間、1種公認である北上陸上競技場の利用が可能であるため、県営陸上競技場については、長期的な観点から、インターハイ、国体等の全国規模の競技会・大会開催の見通し等も勘案し、改修、改築等について改めて検討することが望ましい。

なお、検討に当たっては、陸上競技場のスタンドが平成46年度に耐用年数を迎えるため、劣化度調査等の結果を踏まえる必要がある。

(当面の措置)

東北規模の競技会を開催できる2か所の競技場の一つであり、東北又は県規模の競技会の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、2種公認を維持していく必要がある。

(2) テニスコート（昭和 42 年 7 月完成、平成 10 年オムニコート化）

県内には、県営と同様の仕様である砂入人工芝（オムニコート）のテニスコートが多数あり、県営よりも充実した施設で全国規模の競技会も開催されている状況にある。

県営は、平成 11 年のインターハイで硬式テニスの会場となったが、平成 28 年の希望郷いわて国体では会場とならなかった。

【全国規模競技会を開催した施設の状況】

施設名	整備年	施設状況
県営テニスコート	S42	オムニコート 8 面、収容人員 1,000 人、照明施設
盛岡市立太田テニスコート	S53	オムニコート屋外コート 14 面（ナイター設備 10 面） 屋内コート 2 面
北上市和賀川グリーンパークテニスコート	H9	全天候型コート 18 面、夜間照明 20 機 12 面分
八幡平市 安比高原テニスクラブ	—	オールウェザー（全天候・屋外型）コート 18 面

※県営運動公園テニスコートに係る参考データ

1 設置年度 昭和 42 年 7 月 耐用年数 基準なし

2 利用状況

区分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	63,020	44,450	57,394	60,325	57,759
利用率(%)	99.6	100.0	98.8	99.0	100.0

3 今後 30 年間の概算維持費

区分	概算維持費	積算内容
管理運営費	(27.7 億円)	H29 予算×30 年
施設整備費	1.4 億円	経過年数に伴う改修 等
計	(29.1 億円)	

※管理運営費は、県営運動公園内にある他の施設を含めた全体の費用である。

4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ	ソフトテニス	北上市和賀川グリーンパークテニスコート
	硬式テニス	盛岡市立太田テニスコート 県営運動公園テニスコート
H28 希望郷いわて国体	ソフトテニス	北上市和賀川グリーンパークテニスコート
	硬式テニス	盛岡市立太田テニスコート 八幡平市 安比高原テニスクラブ

(今後のあり方)

県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設が増えており、また、市町村営施設において全国規模の競技会・大会が開催されている現状を踏まえると、県営の施設として現在の施設水準を維持する必要性は高くない。

(当面の措置)

一方、都市公園として地域住民の利用を目的としている施設でもあり、現状において、小規模の大会や一般利用などでの利用率が極めて高いことから、当面、現状を維持しつつ、大規模な改修が必要となった際は、そのあり方について改めて検討する必要がある。

(3) サッカー・ラグビー場（昭和43年10月2面完成、平成26年1面人工芝整備）

県内には、サッカー場は多数あるが、人工芝のフィールドは少ない状況にある。

県営サッカー・ラグビー場の1面を平成26年に人工芝に改修したが、天候に左右されずに大会や練習が可能となり、利用者が大幅に増えている状況にある。

また、県営サッカー・ラグビー場は、平成11年のインターハイ及び平成28年の希望郷いわて国体で競技会場として使用している。

なお、県営サッカー・ラグビー場第2グラウンドは、現在凍結されているスポーツ健康科学センター（多目的屋内練習施設）の建設予定地である。

【県内の人工芝グラウンド】

施設名	整備年	施設状況
県営サッカー・ラグビー場	S43	人工芝グラウンド1面、クレーグラウンド1面
盛岡市つなぎ多目的運動場	H26	人工芝グラウンド1面
岩手県フットボールセンター (紫波町)	H23	人工芝グラウンド1面
葛巻町総合運動公園運動広場	H4	人工芝インフィールド(一般1面・少年2面)
岩手町総合グラウンド	H5	人工芝グラウンド1面(11人制ホッケー1面、一般サッカー1面、少年サッカー2面)
花巻市スポーツキャンプむら	H10	人工芝サッカー場1面、サブグラウンド(天然芝)3面
遠野市国体記念公園市民サッカー場	S43	人工芝サッカー場1面(ジュニアサッカー2面)、ラグビー場1面
一関サッカー・ラグビー場	H26	人工芝インフィールド(サッカー一般1面・少年2面)
釜石市球技場	S36	人工芝ピッチ ラグビー1面、サッカー1面

※県営サッカー・ラグビー場に係る参考データ

- 1 設置年度 昭和43年10月 耐用年数 基準なし
平成26年6月 ラグビー場人工芝改修
(サッカー・ラグビー場第1グラウンドと名称変更)

2 利用状況

(1) サッカー・ラグビー場(第1グラウンド:人工芝)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	52,822	25,820	29,001	67,782	69,619
利用率(%)	76.0	95.4	76.7	88.9	89.5

(2) サッカー・ラグビー場(第2グラウンド:クレー)

区分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	50,692	46,964	37,046	41,880	41,170
利用率(%)	69.9	74.1	68.8	77.2	76.4

3 今後 30 年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費※	(27.7 億円)	H29 予算×30 年
施設整備費	5.6 億円	経過年数に伴う改修（人工芝補修など） クレーグラウンドの人工芝化改修等
計	(33.3 億円)	

※1 管理運営費は、県営運動公園内にある他の施設を含めた全体の費用である。

4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ（サッカー）

盛岡南公園球技場、県営運動公園陸上競技場、県営運動公園サッカー・ラグビー場、
雫石町営陸上競技場、県立雫石高校グラウンド、滝沢村総合公園陸上競技場

H28 希望郷いわて国体

（サッカー） 盛岡南公園球技場、県営運動公園陸上競技場、
県営運動公園サッカー・ラグビー場、花巻市スポーツキャンプむら、
滝沢総合公園陸上競技場、遠野運動公園陸上競技場、遠野運動公園多目的運動広場、
遠野市国体記念公園市民サッカー場
（ラグビー） 八幡平市ラグビー場、釜石市球技場

（今後のあり方）

インターハイや国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。

（当面の措置）

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要があるが、グラウンド 2 面のうち、1 面を人工芝にしたことにより利用者が大幅に増えている状況を踏まえると、残る 1 面についても、スポーツ健康科学センター（多目的屋内練習施設）の整備のあり方に応じ、人工芝への改修も検討していくことが望ましい。

(4) 野球場（昭和44年3月）

県営運動公園野球場には、観戦用スタンドがなく、広さとしても硬式野球の利用ができないが、身近な野球場として、広く近隣の住民に活用されている。

県営運動公園野球場で実施される競技会は、県少年軟式野球大会、県民体育大会軟式野球競技会、県中学校体育大会軟式野球大会地方大会や早起き野球等があるほか、ソフトボールも実施されている。

※参考データ

- 1 設置年度 昭和44年3月 耐用年数 基準なし
- 2 利用状況

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	14,203	39,050	60,536	69,503	22,943
利用率(%)	59.9	53.5	61.0	59.7	57.4

- 3 今後30年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費	(27.7億円)	H29 予算×30年
施設整備費	1.5億円	グラウンド暗渠等改修 等
計	(29.2億円)	

※管理運営費は、県営運動公園内にある他の施設を含めた全体の費用である。

(今後のあり方)

主に住民のレクリエーションのために利用されており、同等程度の機能を備えた施設は県内に数多くあることから、県と市町村の基本的な役割分担を踏まえると、県営の施設として現在の施設水準を維持する必要性は高くない。

(当面の措置)

一方、都市公園として地域住民の利用を目的としている施設でもあり、現状において、朝野球や軟式野球大会など一定のニーズがあることから、当面、施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持することが望ましい。

(5) 登はん競技場（平成 10 年 3 月完成
平成 18 年ボルダリング、平成 25 年リード整備）

リード施設は、県内で競技大会が開催できる唯一の施設であり、また、平成 29 年度に整備されるスピード施設が完成すると、ボルダリングを含めた 3 種目の施設が揃う、全国でも有数の施設となる。

スポーツライミングは、希望郷いわて国体における県選手の活躍や東京オリンピックでの正式種目になったことで、関心が高まり、県営施設の利用者が増加している。

また、ボルダリングの民間施設は、本県を含め、全国的に増加傾向にある。

【県営運動公園登はん競技場の競技会実績】

施設名	主な競技会
リード施設	第 30 回リード・ジャパンカップ岩手大会 第 71 回国体（2016 希望郷岩手国体）山岳競技リード競技 岩手県民体育大会山岳競技リード競技
ボルダリングルーム	岩手県民体育大会山岳競技ボルダリング競技

※県営登はん競技場に係る参考データ

1 設置年度 平成 10 年 3 月

平成 19 年 3 月 ボルダリングルーム 耐用年数 34 年（平成 52 年度）

平成 26 年 3 月 リード施設 耐用年数 15 年（平成 40 年度）

2 利用状況

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	16,952	20,291	22,367	26,654	30,879
利用率(%)	96.7	98.3	98.9	99.7	89.6

3 今後 30 年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費	(27.7 億円)	H29 予算×30 年
施設整備費	1.4 億円	経過年数に伴う改修 等
計	(29.1 億円)	

※管理運営費は、県営運動公園内にある他の施設を含めた全体の費用である。

4 県内における全国規模の大会実績

H28 希望郷いわて国体 リード 県営運動公園登はん競技場

(今後のあり方)

リード施設については、県内唯一の施設であり、全国的にも高い評価を受け、JOCの強化拠点に認定されていることから、現在整備を進めているスピード施設と同様、長期的に県営施設として維持することが望ましい。

一方、ボルダリング競技については、スポーツとしての親しみやすさや健康増進等の観点から、広く県民に普及してきており、今後は、市町村や民間事業者の整備状況を踏まえながら、ボルダリング施設の必要な改修等を行っていくことが望ましい。

(当面の措置)

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要がある。

2 県営体育館（昭和 42 年 6 月完成）

県内には、床面積が 1,600 m²以上の体育館が県営を含めて 12 施設あり、そのうちサブアリーナを有する体育館が 5 施設ある。

県営体育館で実施される競技会は、ここ数年は県内規模が多く、種目としては、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、バドミントン、体操・新体操、ソフトテニス等である。東北規模以上となると、体操とバドミントン競技の東日本学生競技選手権が実施されたことはあるが、国体、インターハイ等の全国規模の競技会の実績はない。

【県内市町村の状況（床面積 1,600 m²以上）】

施設名	整備年	主な仕様
県営体育館	S42	アリーナ 1,877 m ²
盛岡市総合アリーナ	H1	アリーナ 3,234 m ²
盛岡体育館	H7	アリーナ 1,610 m ²
八幡平市総合運動公園体育館	H15	アリーナ 1,628 m ²
滝沢総合公園体育館	H2	アリーナ 1,610 m ²
花巻市総合体育館	H9	第1アリーナ 2,881 m ² 、第2アリーナ 760 m ² 、第3アリーナ 1,675 m ²
北上総合体育館	H9	メインアリーナ 2,172 m ² 、サブアリーナ 748 m ²
奥州市総合体育館	H9	メインアリーナ 3,235 m ² 、サブアリーナ 839 m ²
一関市総合体育館	H10	メインアリーナ 2,551 m ² 、サブアリーナ 921 m ² 、ステージ 285 m ²
宮古市民総合体育館	H8	アリーナ 1,925 m ² 、多目的体育室 670 m ²
久慈市民体育館	H16	アリーナ 2,042 m ²
二戸市総合スポーツセンター	H4	アリーナ 1,680 m ²

※県営体育館に係る参考データ

1 設置年度 昭和 42 年 6 月 耐用年数 60 年（平成 38 年度）

2 利用状況

区分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	69,870	81,721	87,772	37,085	47,967
利用率(%)	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0

3 今後 30 年間の概算維持費

区分	概算維持費	積算内容
管理運営費	9.8 億円	H29 予算×30 年
施設整備費	5.4 億円	暖房設備等改修、アリーナ床改修 等
計	15.2 億円	

4 県営体育館における全国規模の大会実績

実績なし

5 その他

県営体育館は特殊な構造により、天井の改修工事等は高所作業車では作業できない。

(今後のあり方)

県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設が増えてきた現状であるが、体操競技会の男女種目を一体で実施できる県内唯一の体育館でもあり、担う役割や今後の市町村施設の改修状況等を踏まえた検討が必要となる。

なお、検討に当たっては、平成 38 年度に耐用年数を迎えることから、劣化度調査等の結果を踏まえる必要がある。

(当面の措置)

小規模の大会や一般利用などでの利用率が極めて高いこと、また、体操競技会の男女種目を一体で実施できる県内唯一の施設であることから、当面、施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持することが望ましい。

3 県営スケート場（昭和 47 年 11 月完成）

県内のスケート場は、県営スケート場、盛岡市アイスリンク、花巻市石鳥谷アイスアリーナ、一関市千厩アイスアリーナ、二戸市県北青少年の家と民間 1 施設（金ケ崎町）あるが、400mのスピードリンクを有するのは県営スケート場のみである。

県営スケート場で実施される競技会は、国体冬季大会やジャパンカップスピードスケート大会盛岡大会のほか県内規模の競技会である。

全国規模の競技会に関しては、国体冬季大会が 6～10 年後に、インターハイのスケート競技会が 10～12 年後に開催が想定される。

※県営スケート場に係る参考データ

- 1 設置年度 昭和 42 年 6 月 耐用年数 60 年（平成 43 年度）

400mスピードリンク、アイスホッケー・フィギュアリンク 2 面

- 2 利用状況

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	30,739	33,966	34,135	42,632	28,850
利用率(%)	56.6	58.2	56.9	53.9	51.2

- 3 今後 30 年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費	24.2 億円	H29 予算×30 年
施設整備費	17.5 億円	熱源設備改修、受変電設備改修 管理棟、食堂棟、休憩棟改修 等
計	41.7 億円	

(今後のあり方)

400mのスピードリンクを有する県内唯一の施設であり、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。

なお、平成 43 年度に耐用年数を迎えることから、劣化度調査等の結果等を踏まえる必要がある。

(当面の措置)

概ね 10 年スパンで開催されるインターハイや国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえ、適時、改修等を行っていく必要がある。

4 県営武道館（昭和 61 年 9 月弓道場、相撲場完成、 平成 2 年 2 月大道場、柔道場、剣道場完成）

県内には、弓道場、相撲場、柔道場、剣道場は多数あるが、大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であり、これまでも全国規模を含めた各種競技会を実施している。

全国規模の競技会に関しては、北東北インターハイが 9 年後に開催され、本県では 10 競技程度の実施が想定され（具体的な種目は未定）、県営武道館を会場とする競技がある可能性がある。

※県営武道館に係る参考データ

- 1 設置年度 昭和 61 年 9 月 弓道場 耐用年数 60 年（平成 57 年度）
昭和 61 年 9 月 相撲場 耐用年数 60 年（平成 57 年度）
平成 2 年 2 月 大道場 耐用年数 60 年（平成 61 年度）
平成 2 年 2 月 柔道場 耐用年数 60 年（平成 61 年度）
平成 2 年 2 月 剣道場 耐用年数 60 年（平成 61 年度）

2 利用状況

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	166,869	176,114	174,589	165,678	166,022
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3 今後 30 年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費	15.1 億円	H29 予算×30 年
施設整備費	3.7 億円	大道場、弓道場、柔道剣道場、相撲場改修 等
計	18.8 億円	

4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ

柔道：盛岡市アイスアリーナ 弓道：県営武道館弓道場
空手道：大船渡市民体育館 剣道：二戸市総合スポーツセンター
相撲：西根町民体育館

H23 北東北インターハイ

弓道：県営武道館弓道場

H28 希望郷いわて国体

柔道：久慈市民体育館 弓道：水沢弓道場
空手道：県営武道館大道場 剣道：二戸市総合スポーツセンター
相撲：八幡平市総合運動公園体育館

(今後のあり方)

大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であり、全国規模の競技会・大会を開催している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。

(当面の措置)

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要がある。

5 県立御所湖広域公園艇庫（昭和 58 年 9 月完成）

県内において競技会を開催できる施設は、花巻市（田瀬湖）、西和賀町（錦秋湖）と御所湖のみである。

これまでも、全国規模の競技会として、ボート競技は田瀬湖で、カヌー競技は御所湖を中心に実施され、錦秋湖では県規模の両競技会が実施されている。

全国規模の競技会に関しては、北東北インターハイが 9 年後に開催され、本県では 10 競技程度の実施が想定され（具体的な種目は未定）、高い確率で県立御所湖広域公園艇庫において競技が実施される可能性がある。

※県立御所湖広域公園艇庫に係る参考データ

- 1 設置年度 昭和 58 年 9 月 耐用年数（艇庫） 45 年（平成 39 年度）

日本漕艇協会 B 級公認コース 2,000m×6 レーン、1,000m×6 レーン

- 2 利用状況

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	8,825	7,856	10,292	14,537	17,878
利用率(%)	100.0	96.1	100.0	97.1	98.2

- 3 今後 30 年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管理運営費	4.7 億円	H29 予算×30 年
施設整備費	1.2 億円	艇庫改修 等
計	5.9 億円	

- 4 県内における全国規模の大会実績

H11 インターハイ

ボート：花巻市田瀬湖ボート場

H23 北東北インターハイ

ボート：花巻市田瀬湖ボート場

H28 希望郷いわて国体

ボート：花巻市田瀬湖ボート場

カヌー（スプリント）：県立御所湖広域公園艇庫

(今後のあり方)

県内に2か所の漕艇場の一つであり、国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営として維持していくことが望ましい。

なお、艇庫については、平成39年度に耐用年数を迎えることから、劣化度調査等の結果を踏まえ、改修、改築等を検討することが望ましい。

(当面の措置)

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要がある。

6 県営スキージャンプ場（昭和 60 年 12 月完成、 平成 7 年ミディアム、平成 22 年スモール整備）

サマージャンプ台として県内唯一の施設であり、夏場における選手強化の練習施設として活用されている。

年に 1 度、県競技団体等主催のジュニアサマージャンプ大会が開催され、北海道や青森、秋田からも参加している。

※県営スキージャンプ場に係る参考データ

- 1 設置年度 昭和 60 年 12 月 耐用年数 60 年（平成 56 年度）
平成 7 年 12 月 ミディアムヒル（50m）全面改修（競技規則変更による）
平成 22 年 12 月 スモールヒル（25m）整備

2 利用状況

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	770	824	331	306	397
利用率(%)	21.9	24.3	24.4	24.9	29.4

3 今後 30 年間の概算維持費

区 分	概算維持費	積算内容
管 理 運 営 費	0.8 億円	H29 予算×30 年
施 設 整 備 費	0.6 億円	経過年数による改修 等
計	1.4 億円	

（今後のあり方）

県内唯一のサマースキージャンプ施設であり、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。

（当面の措置）

施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要がある。

7 スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設

平成 22 年 3 月に多目的屋内練習施設等整備基本構想を策定し、県営運動公園サッカー場（現在のサッカー・ラグビー場第 2 グランド）に整備することとして、基本設計・実施設計まで実施したが、東日本大震災津波の発災により、現在、計画が凍結されている。

※多目的屋内練習施設等整備基本構想に係る参考データ

1 基本構想策定の趣旨

2 巡目国体の開催において、本県が開催県に相応しい成績を収めるためには、選手強化が喫緊の課題であり、国体開催を契機とした選手の競技力向上、指導者の資質向上等を図るため、また、県民の生涯スポーツ、健康づくりの振興を推進するため、スポーツ・健康科学の機能を併設した「多目的屋内練習施設」の整備を進めること。

2 施設整備計画の概要

- ・建設予定地 県営運動公園サッカー場
- ・施設整備の規模 多目的屋内練習施設 12,000 m²
スポーツ健康科学センター 2,300 m² 計 約 14,300 m²
- ・練習可能競技種目 主に屋外の競技種目の練習が実施可能な施設
- ・各施設の主な整備内容
多目的屋内練習施設・・・アリーナは人工芝、練習用直走路（タータン）
スポーツ健康科学センター・・・トレーニング室、測定室、
メンタルトレーニング室、メディカルチェック室、医療相談室、
パフォーマンス室（小体育館、フローリング） など

近隣の道県におけるスポーツ医科学施設は、秋田県が県直轄で、北海道、青森県と新潟県が、県（道）体育協会を指定管理者として、宮城県仙台市が市体育協会を指定管理者として運営している。山形県では、人的配置及び施設整備を検討中とのことである。

東北各県における屋内練習施設は、青森県に 5 施設、秋田県に 2 施設、宮城県、山形県、福島県にそれぞれ 1 施設整備されている。

※参考データ 岩手県の現況

1 設置目的

競技力向上サポート、体力向上サポート、健康づくりサポート

2 職員配置

スポーツ振興専門員 2、スポーツ医・科学専門員 1、スーパーバイザー 1 計 4 名

3 サポート拠点

事務室・・・・・・・・・・・・・・・・ 岩手県体育協会内

機器測定等・・・・・・・・・・・・・・・・ 県営スケート場内食堂棟 2 階

フィールドテスト、運動指導等・・・ 県内スポーツ施設を借用

(今後のあり方)

スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設については、競技力向上や生涯スポーツの振興、また、冬期間のフィールド練習環境の整備の観点から県営の施設として整備することが望ましい。

一方、整備計画は、東日本大震災により凍結されていることから、改めて、その整備のあり方について、検討を行うことが望ましい。

県営スポーツ施設一覧

1 岩手県営運動公園

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市みたけ一丁目 10-1
設置根拠	県立都市公園条例
設置目的	(設置：昭和 41 年 6 月) 生涯スポーツの推進 体育、スポーツ・レクリエーション指導者の養成及び活用促進
施設概要	敷地面積 243,737 m ² 陸上競技場 (昭和 41 年 6 月完成) …第 2 種陸上競技場、400m×8 コース、全天候舗装、収容人員 30,000 人、スタンド、鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)、照明施設 (照度 400 ルクス) サブトラック (昭和 41 年 6 月完成) …300m×7 コース、一部シンダー テニスコート (昭和 42 年 7 月完成) …オムニコート 8 面、収容人員 1,000 人、照明施設 (照度 200 ルクス) サッカー・ラグビー場第 1 グラウンド (昭和 43 年 10 月完成) …160m×90m、人工芝グラウンド 1 面、収容人員 4,000 人、照明施設 (照度 200 ルクス) サッカー・ラグビー場第 2 グラウンド (昭和 43 年 10 月完成) …160m×90m、クレーコート 1 面、収容人員 4,000 人、照明施設 (照度 200 ルクス) 野球場 (昭和 44 年 3 月完成) …軟式野球場 1 面、収容人員 4,000 人 ヘルスコース (陸上競技場前をスタートし、外周を回り、幹線道路からラグビー場、テニスコートの外周をへて、陸上競技場のゴール地点までの 2 km) 登はん競技場等 (平成 10 年 3 月完成) …屋内競技場 2 面、屋内練習場 1 面、屋外競技場 2 面 日本庭園 (昭和 45 年 9 月完成) …面積 17,000 m ² 、あずま屋 2 棟 児童遊園 (昭和 47 年 3 月完成) …面積 3,000 m ² 、遊具 34 基 交通公園 (昭和 48 年 3 月完成) …管理棟、視聴覚教育施設交通施設、交通遊具 駐車場：普通車 578 台
指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

(2) 利用状況

ア 利用者数 (単位：人)

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
陸上競技場	171,954	176,283	218,172	214,336	149,062
補助競技場	42,727	66,563	113,315	120,034	45,021
テニスコート	63,020	44,450	57,394	60,325	57,759
サッカー・ラグビー場	103,514	72,784	67,782	109,662	110,789
野球場	14,203	39,050	60,536	69,503	22,943
登はん競技場	16,952	20,291	22,367	26,654	30,879
その他	190,131	178,956	175,413	106,368	127,892
計	602,501	598,377	714,979	706,882	544,345

イ 利用料金収入（単位：円）

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
陸上競技場	2,524,630	2,927,025	2,337,000	2,545,240	2,013,665
補助競技場	368,345	361,715	376,160	350,390	324,115
テニスコート	8,255,060	7,173,640	7,596,455	8,959,570	7,625,960
サッカー・ラグビー場	1,564,815	1,282,680	2,867,635	4,588,705	4,343,285
野球場	396,430	392,320	430,395	439,770	346,590
登はん競技場	1,294,400	1,384,370	1,534,990	1,851,430	954,870
その他	258,610	253,060	242,100	217,980	259,970
計	14,662,290	13,774,810	15,384,735	18,953,085	15,868,455

(3) 施設改修履歴

ア 陸上競技場

年度	改修内容	改修費用(円)
S41	陸上競技場・補助競技場完成	330,000,000
S45	バックスタンド建設工事	99,325,000
S50	フィールド走路全天候舗装	36,646,000
S53	走路全天候舗装整備（補助競技場と同時整備）	136,495,000
S54	メインスタンド雨漏防止、客席取替	28,390,000
S60	多目的フィールド改修工事	39,999,000
S61	写真判定ビデオレコーダー設置	10,000,000
H元	トラック等改修工事（補助競技場と同時改修）	94,206,000
H4	スタンド改修工事	18,606,000
H6	第1種公認更新工事	22,738,000
H7	メインスタンド屋根等改修工事	33,069,000
H8	バックスタンド観客席改修工事	30,496,000
H10	機械・電気設備改修、メインスタンド耐震改修及び防水工事、バックスタンド化粧直し、会議室等内装改修	363,594,000
H11	第1種公認更新工事	40,437,000
H12	バックスタンド外壁塗装	4,750,000
H13	外周側溝改修工事	9,612,000
H15	メインスタンド屋根補修工事	5,130,000
H16	第1種公認更新工事（メイントラック走路ライン等補修、3000m固定障害物補修、用器具庫整備）	78,193,000
H7	給水設備等改修工事	47,775,000
H22	第2種公認改修工事	339,745,000
	照明設備設置工事	111,279,000
H26	第2種公認改修工事	40,644,000
H28	非常用発電設備更新	6,315,000
	フィールド等改修工事	41,586,000
	計	1,969,030,000

イ 補助競技場

年度	改修内容	改修費用(円)
S53	走路整備(陸上競技場と一体で整備)	(136,495,000)
H16	トラック全天候型舗装(エンボス、クレイ)工事、付帯設備改修、インフィールド芝生補修	(79,193,000)
	計	(215,688,000)

ウ テニスコート

年度	改修内容	改修費用(円)
S42	テニスコート完成	27,000,000
S53	夜間照明施設整備	23,987,000
H3	コート改修	70,286,000
H10	コート全面改修	112,050,000
H26	テニスコート改修	62,420,000
	計	295,743,000

エ サッカー・ラグビー場

年度	改修内容	改修費用(円)
S43	サッカー・ラグビー場完成	80,000,000
S55	ラグビー場改修(表土取替、暗渠排水、盛土スタンド新設)	17,092,000
H元	夜間照明施設整備	94,197,000
H5	サッカー場グラウンド暗渠排水改修・表土取替	112,256,000
H6	ラグビー場改修(表土取替、暗渠排水、盛土スタンド新設)	116,219,000
H7	更衣室等改修	103,788,000
H10	散水施設改修	26,572,000
H21	ラグビー場他照明安定器取替	7,969,000
H26	ラグビー場人工芝改修工事	225,492,000
H28	観覧席擁壁改修工事	4,515,000
	計	788,100,000

オ 野球場

年度	改修内容	改修費用(円)
H7	グラウンド改修	64,324,000
	計	64,324,000

カ 登はん競技場

年度	改修内容	改修費用(円)
H9	登はんボード整備	32,152,000
H18	ボルダリングルーム整備	28,140,000
H25	リード競技場他改修工事	135,797,000
H28	ボルダリング改修工事	11,650,000
	計	207,739,000

(4) 県内市町村の状況

ア 陸上競技場（公認陸上競技場）

市町村名	公認状況	主な仕様
北上市	第1種公認陸上競技場	400mトラック 9レーン 収容人員 22,000人
一関市	第2種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン
金ヶ崎町	第3種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン
宮古市	第3種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン
花巻市	第4種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン
遠野市	第4種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン
滝沢市	第4種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン

イ 補助競技場（公認陸上競技場）

市町村名	公認状況	主な仕様
北上市	第3種公認陸上競技場	400mトラック 8レーン

ウ テニスコート

市町村名	施設名	主な仕様
盛岡市	太田テニスコート	屋外テニスコート 14面、屋内テニスコート 2面（全 16面砂入人口芝）
北上市	和賀川グリーンパークテニスコート	全天候型コート 18面、夜間照明 20機 12面分
八幡平市	安比高原テニスクラブ（民間）	オールウェザー（全天候・屋外型）コート 18面
県内	多数あり	砂入人口芝

エ サッカー・ラグビー場（人口芝）

市町村名	施設名	主な仕様
盛岡市	つなぎ多目的運動場	人口芝グラウンド 1面
紫波町	フットボールセンター	人工芝グラウンド 1面
葛巻町	総合運動公園運動広場	人工芝インフィールド（サッカー一般 1面・少年 2面）
岩手町	総合グラウンド	人工芝グラウンド（11人制ホッケー 1面、一般サッカー 1面、少年サッカー 2面）
花巻市	スポーツキャンプむら	人工芝サッカー場 1面、サブグラウンド（天然芝） 3面
一関市	サッカー・ラグビー場	人工芝サッカー場 1面（ジュニアサッカー 2面）、ラグビー場 1面
遠野市	市民サッカー場	サッカー場 1面（人工芝）
釜石市	球技場	人工芝ピッチ ラグビー 1面、サッカー 1面

2 岩手県営体育館

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市青山二丁目4-1
設置根拠	県立体育館条例
設置目的	(設置：昭和42年6月) 生涯スポーツの推進 体育、スポーツ・レクリエーション指導者の養成及び活用促進
施設概要	(昭和42年6月完成) 敷地面積13,404㎡、コート面積1,877㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て、アリーナ1面 収容人員 固定席：1,625席 【競技機能】 バスケットボールコート 2面 バレーボールコート 2面 バドミントンコート 10面 ハンドボールコート 1面 テニスコート 2面 卓球24面等 体操(男子6種目・女子4種目) その他：レスリング、ボクシング、フェンシング、綱引き等 会議室、応接室、多目的室、選手控室、ロッカー室、シャワー浴室等 駐車場：普通車173台、バス6台
指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

(2) 利用状況

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数(人)	69,870	81,721	87,772	37,085	47,967
利用料収入(円)	8,675,041	9,513,174	9,073,213	3,570,474	9,747,116

(3) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費用(円)
S42	県営体育館完成	336,338,000
S55	メインアーチ風化防止等全面補修	119,243,000
S63	フローリング張替等改修	245,791,000
	ゆか(床マット)設置	12,875,000
H5	屋根防水補修	28,048,000
H8	暖房設備等改修	409,620,000
H11	耐震改修等	38,369,000
H13	暖房設備等改修	2,374,000
H15	分煙化のための空調工事	1,762,000
H17	電気設備・機械設備改修	12,257,000
H19	直流電源更新工事	4,396,000
H20	外灯設備更新	5,714,000
	南北屋根漏水防止改修	1,418,000
H21	非常用発電機取替	2,205,000
	冷暖房設備増設	5,279,000
	メインアーチ防止及び漏水修理	3,920,000
H22	アリーナ空調送風機取替	3,546,000
H23	屋根等改修工事	28,599,000
	トイレ等改修工事	4,255,000
H24	アリーナ床研磨塗装等改修工事	7,743,000
	南側玄関防水改修工事	2,420,000
H26	ボイラー煙突内部改修工事	8,208,000
	給排水管全面改修工事	94,329,000
H28	アリーナ天井修繕工事	125,392,000
	計	1,504,101,000

(4) 県内市町村の状況(床面積1,600㎡以上)

市町村名	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市アイスアリーナ	アリーナ 1,800㎡
盛岡市	盛岡体育館	アリーナ 1,610㎡
八幡平市	八幡平市総合運動公園体育館	アリーナ 1,628㎡
滝沢市	滝沢総合公園体育館	アリーナ 1,610㎡
花巻市	花巻市総合体育館	第1アリーナ 2,881㎡、第2アリーナ 760㎡、第3アリーナ 1,675㎡
北上市	北上総合体育館	メインアリーナ 2,172㎡、サブアリーナ 748㎡
奥州市	奥州市総合体育館	メインアリーナ 3,235㎡、サブアリーナ 839㎡
一関市	一関市総合体育館	メインアリーナ 2,551㎡、サブアリーナ 921㎡、ステージ 285㎡
宮古市	宮古市民総合体育館	アリーナ 1,925㎡、多目的体育室 670㎡
久慈市	久慈市民体育館	アリーナ 2,042㎡
二戸市	二戸総合スポーツセンター	アリーナ 1,680㎡

3 岩手県スケート場

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市みたけ五丁目 9-1
設置根拠	県立スケート場条例
設置目的	(設置：昭和 47 年 11 月) 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため
施設概要	敷地面積、建物面積、主な施設、利用定員等 敷地面積：34,737 m ² 管理・観客席棟：鉄筋コンクリート造 2 階建て 収容人員：観覧席 1,660 人 スピードリンク：400m×15m、1 面 インラインスケートリンク：200m×6m、1 面 アイスホッケーリンク：60m×29m、1 面 フィギュアリンク：60m×29m、1 面 冷凍機：ターボ冷凍機、4 基 附帯施設：食堂、休憩室、休憩場等 駐車場：普通車 290 台
指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

(2) 利用状況

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数 (人)	30,739	33,966	34,135	42,632	28,850
利用料収入 (円)	7,815,280	8,079,385	8,603,025	6,397,095	6,857,400

(3) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費用(円)
S47	県営スケート場完成	396,000,000
S48	食堂棟完成	64,678,000
S50	Bリンクのパイピング敷設	86,800,000
S53	休憩棟整備(宝くじ協会寄贈)	35,000,000
S63	リンク改修、冷凍機等更新	772,984,000
H元	建物等改修工事	115,949,000
H2	給水管等改修工事	56,856,000
H3	消化設備改修工事	12,156,000
	非常用電源改修工事	3,481,000
H4	暖房設備等改修工事	47,637,000
	放送設備その他設備工事	21,528,000
H9	ターボ冷凍機フロン転換工事	756,000,000
	管理棟、休憩棟、車庫棟改修	386,927,000
	アイスホッケーオフィシャル席改修	12,165,000
	ロイヤルボックス設置	18,415,000
H12	インラインスケートリンク設置	19,821,000
H14	ホッケーリンク防護ネット取付工事	2,387,000
H15	スケートリンク補修工事	9,450,000
H17	Bリンク配管改修工事	52,185,000
H19	Aリンク改修工事	40,399,000
H21	ターボ冷凍機オーバーホール	25,200,000
	機械棟屋根塗装工事	1,617,000
H22	受変電設備改修工事	66,220,000
	管理棟天井改修工事	4,326,000
H23	ボイラー改修工事	6,300,000
H24	ターボ冷凍機操作盤改修工事	8,925,000
	食堂棟健康科学担当執務室改修工事	2,559,000
H26	管理棟改修工事	33,693,000
	スケートリンク内周・外周木柵改修工事	13,974,000
	ターボ冷凍機起動盤改修	11,610,000
	計	3,085,242,000

(4) 県内市町村の状況

市町村名	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市アイスリンク	スケートリンク 30m×60m 1面 カーリングシート2面
花巻市	石鳥谷アイスアリーナ	スケートリンク 30m×60m 1面
一関市	千厩アイスアリーナ	屋内スケートリンク 33.7m×22.5m
二戸市	県北青少年の家	スケートリンク 30m×60m 1面

4 岩手県営武道館

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市みたけ三丁目 24-1
設置根拠	武道館条例
設置目的	(設置：昭和 47 年 11 月) 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため
施設概要	敷地面積 18,498 m ² ○弓道場 (昭和 61 年 9 月完成) ・近的場 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積 1,086 m ² 競技機能：12 人立ち、観客席 150 人 附属施設：会議室 2 室、更衣室、鑑的場 ・遠的場 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積 55 m ² 競技機能：6 人立ち 附属施設：鑑的場 ○相撲場 (昭和 61 年 9 月完成) 鉄骨造平屋、延床面積 180 m ² 競技機能：土俵 1 面、屋外練習場、観客席 500 人 附属施設：シャワー室 ○駐車場：139 台 (※スケート場駐車場を除く) ○大道場 (平成 2 年 2 月完成) 鉄筋コンクリート造一部地下・地上 3 階、延床面積 4,988 m ² 競技機能：柔道・剣道 6 面、バレーボール 2 面、テニス 2 面、バドミントン 6 面、卓球 18 面、ハンドボール 1 面 観客席：固定席 1,000 席・アリーナ移動席 2,000 席 附属施設：会議室 2 室、ステージ、舞台控室 2 室、医務室、応接室、トレーニング室各 1 室等 ○柔道場 (平成 2 年 2 月完成) 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積 745 m ² 競技機能：試合場 2 面 附属施設：更衣室、シャワー室、師範室 ○剣道場 (平成 2 年 2 月完成) 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積 745 m ² 競技機能：試合場 2 面 附属施設：更衣室、シャワー室、師範室
指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

(2) 利用状況

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数	166,869	176,114	174,589	165,678	166,022
利用料収入	9,421,380	10,564,190	10,226,380	9,202,485	9,838,855

(3) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費用(円)
S61	弓道場・相撲場完成	580,000,000
H2	大道場、拾道場、剣道場完成	2,618,000,000
H10	身障者対応	25,843,000
H11	弓道場安全対策	21,219,000
H15	遠的場改修	49,762,000
H18	土俵及び近的場安土改修	2,572,000
H19	大道場照明設備更新工事	1,134,000
H21	監視カメラ取替	1,155,000
	大道場安定器交換	808,000
	非常照明用蓄電池交換	2,176,000
	空調設備改修	1,460,000
	弓道場巻藁場改修	12,315,000
H27	天井改修	19,596,000
	高圧ケーブル交換	1,266,000
	計	3,337,306,000

(4) 県内市町村の状況

市町村名	施設名	主な仕様
盛岡市	盛岡市立武道館	柔道場 554.9 m ² 剣道場 554.9 m ²
盛岡市	盛岡市弓道場	近的 12 人立
八幡平市	松尾相撲場	観客席 557.76 m ²
県内	多数あり	

5 岩手県立御所湖広域公園艇庫

(1) 施設の概要

所在地	盛岡市繫字除キ 4-1
設置根拠	県立都市公園条例
設置目的	(設置：昭和 58 年 9 月) 生涯スポーツの推進 体育、スポーツ、レクリエーション指導者の養成及び活用促進
施設概要	敷地面積 4,825 m ² 施設：鉄骨造 2 階建て (艇格納庫、管理室、休憩室、会議室) 設備：漕艇用ボート、カヌー、審判艇、トレーニング用具 コース：日本漕艇協会 B 級公認コース 2,000m×6 レーン、1,000m×6 レーン 駐車場：普通車 20 台 (バス 5 台)
指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

(2) 利用状況

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数 (人)	8,825	7,856	10,292	14,537	17,878
利用料収入 (円)	1,271,735	1,134,053	1,046,258	1,147,755	1,143,445

(3) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費用 (円)
S57	艇庫完成	184,032,000
S58	漕艇場完成	73,000,000
H12	艇庫内改修	7,518,000
H13	漕艇場改修	2,123,000
H14	艇庫屋根改修	13,923,000
H16	護岸等補修	3,154,000
H17	屋根雪止設置及びフェンス取替	1,313,000
H20	電動シャッター改修・外灯設備更新	9,385,000
H22	給水ポンプ改修	735,000
H23	深井戸水中ポンプ等更新	4,122,000
	艇庫外階段補修	866,000
	会議室天井ボード補修等	529,000
H27	繫索柱及び見通し版災害復旧	3,456,000
	計	304,156,000

(4) 県内市町村の状況

市町村名	施設名	主な仕様
花巻市	東和 B&G 海洋センター	艇庫、マリナーハウス、ボートコース (B 級公認 2,000m8 レーン)
西和賀町	錦秋湖ボートコース	艇庫 587.73 m ² 、1,000m 4 レーン、回送コース 2 レーン
宮古市	リアスハーバー宮古	クラブハウス、艇庫、保留棧橋

6 県営スキージャンプ場

(1) 施設の概要

所在地	八幡平市矢神 8 - 1		
設置根拠	スキージャンプ場条例		
設置目的	(設置：昭和 60 年 12 月) 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため		
施設概要	○敷地面積 10,299.94 m ² ○ジャンプ台		
	ジャンプ台区分	ミディアムヒル	スモールヒル
	縦断/助走路部	61m	35m
	踏切台高	1.5m	0.63m
	ランディング部	80m	46.7m
	アウトラン部	65m	60m
	K点までの距離 (HS)	50m (HS : 56m)	25m (HS : 27m)
	助走路滑走面	スライディングレール (セラミックタイル)	
	ランディング部	ポリエチレン人工芝 (ソウメン)	
	アウトラン部	ポリエチレン人工芝 (ブラシ状マット)	
	照明設備	一式	
	散水設備	一式	
	風向風速計	2基	
	ネットフェンス	207m	
	○その他 倉庫 : 49.68 m ² (延べ 99.36 m ²)		
指定管理者名	八幡平市		

(2) 利用状況

施設名	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数 (人)	770	824	331	306	397
利用料収入 (円)	0	0	0	68,100	55,390

(3) 施設改修履歴

年度	改修内容	改修費用 (円)
S60	スキージャンプ場完成	96,234,000
H7	改築：スキージャンプ台規格改正による大規模改築	232,081,000
H9	転倒防護マット設置	1,470,000
	風向風速計設置	1,680,000
H20	人工芝張替工事	11,865,000
H21	ポンプ室減圧弁改修工事	494,000
H22	スモールヒル建設工事	249,862,000
	計	593,686,000

(4) 県内市町村の状況 (冬季)

市町村名	施設名	主な仕様
八幡平市	八幡平市矢神飛躍台	ノーマルヒル、ミディアムヒル、スモールヒル

東北各県（近隣）の医科学センター及び屋内練習施設一覧

1 近隣都道府県スポーツ医・科学等施設の状況

No.	都道府県	名称	管理運営者	管理形態	設置目的	職員配置	事業例
1	北海道	北海道立総合体育センター （北海来きたえーる）	県体育協会	指定管理	総合的な道民の健康づくり	館長（専務理事） 1 副館長（事務局長） 1 課長（事務局次長） 1 職員 正規職員 3 非常勤職員 14 計20名	健康プログラム（外部委託） 自主事業
2	青森県	青森県スポーツ科学センター	県体育協会	指定管理	県民の健康・体力向上 競技力向上 指導者の資質向上	所長 1 指導官（管理職） 1 スポーツ科学専門員 5 スポーツアシスタント 2 臨時職員 1 計 10名	体力測定（一般、競技者） 動作分析（競技者） リコンディショニング（競技者） 心理サポート（競技者）
3	秋田県	秋田県スポーツ科学センター	県	県直轄	総合的な県民の健康づくり	所長 1 副主幹 3 主査 1 主任 1 スポーツ主事（教員） 9 非常勤職員 11 臨時職員 2 計28名	スポーツ指導者の養成 （各種研修講座、講習会の実施） 競技力向上・スポーツ医科学サポート （体力診断、タレント発掘、人材派遣） 生涯スポーツ振興
4	宮城県	<参考> （公財）仙台市スポーツ振興事業団	市体育協会	指定管理	総合的な市民の健康づくり	館長 1 副館長 1 職員 正規職員 1 非常勤職員 17 計20名	体力測定（一般） 大会・イベント プール営業
5	新潟県	新潟県健康づくり・ スポーツ医科学センター	県体育協会	指定管理	健康づくり活動支援 競技水準の向上	センター長（医師） 1 次長 1 プロパー 4 非常勤職員 22 補助員（アルバイト） 13 計41名	体力測定（一般、競技者） 動作分析（競技者） 健康事業 栄養指導 学会発表
6	山形県	<参考> 人的配置、施設整備を検討中 人員の確保が出来れば来年度からの運営の可能性もあり。					
7	岩手県	<H29現状> 岩手県文化スポーツ部 スポーツ振興課 健康科学班	県	県直轄	競技力向上サポート 体力向上サポート 健康づくりサポート	スポーツ振興専門員 2 スポーツ医・科学専門員 1 スーパーバイザー 1 計4名	有望競技者支援（障がい者含む） 指導者支援（障がい者含む） 体力測定（一般、競技者） 被災地の中学生・高校生支援 健康づくり支援（高齢者、就労年齢層）

2 東北各県の屋内練習施設一覧

	施設名	工事費 (千円)	施設概要				その他施設
			アリーナ面積	天井高	フィールド部分	各種利用種目等	
1	富士大学 屋内総合体育館 (花巻市 H10.8)	1,770,000	13,617㎡	20m	オールウエザ他	陸上競技4レーン (周回300m、直線100m) 各種コート:バスケットボール、 バレーボール、バドミントン、テニス	50mプール8コース トレーニングルーム 野球練習場 他
2	青森市屋内グランド (サンドーム) (青森県 H4)	4,130,000	8,877㎡	22m	クレー	陸上競技200mトラック・80m、 野球、ソフトボール、ハンドボール、 サッカー、ゲートボール、 1週300mジョギングコース	トレーニング室2 (筋力、体力測定) 会議室2
3	ひらかドーム (青森県 H15.11)	1,780,000	6,505㎡	29m	土 (グリーンサンド)	陸上競技、野球、ソフトボール、 ゲートボール、ほか	トレーニングルーム ランニングコース 会議室 エントランスホール 他
4	八戸市屋内 トレーニングセンター (八戸市 H元.9)	1,652,000	3,300㎡	20m	クレー	陸上競技、野球、ソフトボール、 テニス、ほか	投球練習場 トレーニングルーム ミーティングルーム 他
5	つがる克雪ドーム (青森県 H14.7)	3,600,000	8,652㎡	30m	クレー	野球、ソフトボール、サッカー、 テニス、ゲートボール	観覧席:341席
6	しもきた克雪ドーム (むつ市 H18.4)	3,700,000	11,729㎡	30m	人工芝	陸上競技200mトラック、野球、 ソフトボール、サッカー、 テニス(8面)、ゲートボール(12面)	25m屋内プール トレーニングジム 会議室、エントランス、 VIP室 他
7	大館樹海ドーム (秋田県 H9.8)	7,700,000	12,915㎡	52m	人工芝	陸上競技7レーン (周回300m、直線100m)、 野球1面(両翼90m、中堅120m)、 サッカー1面、テニス15面	観覧席:5,040席 多目的室
8	あきたスカイドーム (秋田県 H2)	2,500,000	12,158㎡	32m	人工芝	陸上競技200mトラック、 100m直走路、ソフトボール2面、 サッカー1面、テニス10面、 ゲートボール11面	(滑雪・融雪システム)
9	シェルコムせんたい (宮城県 H12.7)	5,980,000	13,132㎡	51m	人工芝	野球1面 (両翼91.5m、中堅115.82m)、 ソフトボール1面、サッカー1面、 テニス6面、フットサル2面、 アメリカンフットボール1面	観客席:1,050席
10	屋内多目的コート (山形県 H8.2)		3,022㎡	20m	砂入り人工芝	テニス、ゲートボール、 ミニサッカー、ニュースポーツほか	観客席:1,072席 ミーティングルーム
11	あいづドーム (福島県 H6.12)	920,000	3,034㎡	21.8m	砂入り人工芝	テニス等、多目的	

岩手県公共施設等総合管理計画（平成28年3月）の概要～抜粋～

1 計画策定の趣旨

公共施設等の全体状況を把握し、計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化により、財政負担の軽減・平準化を図るなど長期的な視点に立った公共施設等マネジメントの取組を推進するため、「岩手県公共施設等総合管理計画」を策定するものです。

2 計画期間

平成27年度～平成36年度までの10年間。

計画期間中においても、必要に応じて見直しを実施。

3 現状や課題に関する基本認識

(1) 公共施設等の老朽化への対応

高度成長期から昭和50年代を中心に大量に整備した公共施設等に係る維持管理や修繕、更新経費の増大への対応が課題。

(2) 社会経済情勢等の変化への対応

地域を支える基盤の一つである公共施設等の役割に留意しつつ、社会経済情勢等の変化に即した的確な対応が課題。

(3) 災害への対応

東日本大震災津波を教訓とした国土強靱化に向けた取組が課題。

4 公共施設等の管理に関する基本的な考え方（基本方針）～計画推進の「3つの柱」

[方針Ⅰ] コスト縮減・財政負担の平準化

計画的な維持管理と長寿命化を推進し、公共施設等の維持管理や修繕、更新等に要する中長期的なコストを縮減・財政負担を平準化。

[方針Ⅱ] 施設規模・配置・機能等の適正化

「岩手県ふるさと振興総合戦略」に掲げる基本目標の趣旨を踏まえながら、人口動態等の変化に対応した公共施設等のあり方を検討し、施設規模や配置、機能等を適正化。

また、公共施設等のあり方の検討に当たっては、環境への配慮や市町村等との連携などについても十分に考慮。

[方針Ⅲ] 安全・安心の確保

「岩手県国土強靱化地域計画」に位置付けられる施策との整合性を図りながら、計画的な耐震化や定期的な点検・診断、修繕などにより公共施設等に求められる機能を維持・強化し、県民、施設利用者等の安全・安心を確保。

5 公共施設等の管理に関する基本的な考え方（具体的な取組方針）
～計画実施の「7つの取組方針」

【取組1】点検・診断等の実施方針

- (1) 定期的な点検・診断の実施（点検・診断マニュアルの整備など）
- (2) 継続的に実施可能な点検・診断体系の構築（新技術の導入など）
- (3) 点検・診断結果の一元管理の推進（データベース化など）

【取組2】維持管理・修繕・更新等の実施方針

- (1) 計画的な維持管理の実施（個別施設計画策定・負担平準化など）
- (2) 新設・更新時におけるライフサイクルコストの縮減（構造・仕様など）
- (3) 環境負荷低減への取組（再生可能エネルギー、材料選定など）

【取組3】安全確保の実施方針

- (1) 高度の危険性が認められた場合の対応ルール確立（供用停止など）
- (2) 用途を廃止した施設の適切な管理（除却の検討など）

【取組4】耐震化の実施方針

- (1) 耐震改修促進計画等の推進（多くの県民が利用する公共施設など）
- (2) 効率的な対策実施（長寿命化対策との同時施工など）

【取組5】長寿命化の実施方針

- (1) 予防保全型維持管理の実施（適時適切な修繕、高耐久性材料など）
- (2) 長寿命化対象の選別（今後とも長期間保有する施設の選別など）

【取組6】統合や廃止の推進方針

- (1) 施設規模・総量の適正化と有効活用（人口動態の変化への対応など）
- (2) 市町村等との連携（機能・役割分担など）

【取組7】総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- (1) 全庁的な取組体制の整備（庁内関係部局による会議の設置など）
- (2) 民間活力の導入（PPP/PFIの活用、地域住民等との協働など）
- (3) 施設管理者の技術力向上（研修会や連絡会議の開催など）

県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会 委員名簿

区 分	役 職	氏 名
行政	一戸町教育委員会教育長	古 舘 英 彦
	盛岡市市民部スポーツ推進課課長	山 本 英 朝
民間	岩手県商工会議所連合会副会長	齋 藤 雅 博
スポーツ 団体	岩手県体育協会副会長兼理事長	高 橋 光 彦 H29.6～ 平 藤 淳
	岩手県体育協会選手強化委員会委員長	西 田 範 次
	岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長	飯 島 仁
	岩手県高等学校体育連盟理事長	清 川 義 彦
	岩手県中学校体育連盟理事長	照 井 大 道
	岩手県スポーツ推進委員協議会副会長	菊 池 幸 子
学識経験者	岩手大学教育学部教授	上 濱 龍 也
関係団体	岩手県レクリエーション協会理事長	横 澤 繁
	岩手県障がい者スポーツ指導者協議会事務局長	三 浦 拓 朗